

平成 21・22 年度 土木学会複合構造委員会 第 9 回幹事会議事録

1. 日 時：平成 22 年 11 月 17 日（水）14:00～17:00
2. 場 所：主婦会館プラザエフ 会議室（3F コスモス）
3. 出席者：横田委員長，杉浦副委員長，古市幹事長，池田幹事，斉藤幹事，島幹事，田中幹事，西崎幹事，溝江幹事，渡辺幹事，竹原事務局
（欠席者：大垣幹事，大山幹事，武知幹事，本間幹事，山口幹事）
4. 配布資料
資料 幹 9-0 第 9 回複合構造委員会 幹事会 次第
資料 幹 9-1 第 8 回複合構造委員会幹事会議事録（案）
資料 幹 9-2-1 22 年度自己評価(中間)評価表
資料 幹 9-2-2 22 年度自己評価(中間)視点評価様式
資料 幹 9-2-3 23 年度事業計画・予算書
資料 幹 9-3-1 次期委員長候補選出方法について
資料 幹 9-3-2 委員長選出のご案内
資料 幹 9-3-3 次期委員長候補者 立候補・推薦用紙
資料 幹 9-3-4 複合構造委員会委員長候補者選考細則
資料 幹 9-4-1 示方書講習会（福岡）
資料 幹 9-4-2 示方書印税配分（案）
~~資料 幹 9-5 標準示方書の改訂について~~
資料 幹 9-6-1 第 9 回シンポ実施項目一覧
資料 幹 9-6-2 第 8 回複合合成構造シンポジウム報告（土木学会宛）
資料 幹 9-6-3 第 8 回シンポスケジュール(参考)
資料 幹 9-6-4 第 7 回複合シンポ準備工程表(参考)
資料 幹 9-7 出版関係
資料 幹 9-8 S101029_土木学会への発注事項に関する打合せ資料
資料 幹 9-9-0 複合構造委員会の小委員会一覧
資料 幹 9-9-1 H203 維持管理小委員会(講習会関連)
資料 幹 9-9-2 H102FRP 歩道橋設計施工指針(複合構造シリーズ 04)
資料 幹 9-9-3 H103 複合構造の基礎に関する書籍作成
~~資料 幹 9-9-4 H206 ずれ止め小委員会~~
資料 幹 9-9-5 H207 樹脂材料による複合技術研究小委員会
~~資料 幹 9-9-6 H208FRP 複合構造小委員会~~
~~資料 幹 9-9-7 H209FRP によるコンクリート構造の補強設計小委員会~~
~~資料 幹 9-9-8 H210 複合構造の防水排水技術研究小委員会~~
~~資料 幹 9-9-9 鋼と FRP の複合構造に関する新しい研究小委員会について~~
資料 幹 9-10-1 委員交代について
資料 幹 9-10-2 H22 年度の委員会・幹事会予定表
資料 幹 9-10-3 田中賞推薦の依頼
資料 幹 9-10-4-1 平成 23 年度全国大会共通セッションテーマの募集
資料 幹 9-10-4-2 平成 23 年度全国大会特別セッションテーマの募集
資料 幹 9-10-4-3 H23_部門別セッション名

5. 議事内容

(1) 委員長挨拶

幹事会開催にあたり、横田委員長より挨拶があった。

(2) 第8回複合構造委員会幹事会議事録の確認（資料 幹 9-1）

古市幹事長より、第8回幹事会議事録案が代理で紹介され、以下の1箇所修正することで承認された。

- ・(12)第11回委員会→第11回幹事会 に修正

また、議事録の内容について、以下の補足説明があった。

- ・出版物の申し合わせについては、委員会の承認が得られたので今後HPに掲載する。
- ・平成23年度の出版を予定していた「H207 樹脂材料による複合技術研究小委員会」と「H206 複合構造ずれ止めの性能評価法に関する調査研究小委員会」は企画書提出を見送ることになった。
- ・「H211 鋼とFRPの複合構造に関する新しい研究小委員会」は複合構造委員会の承認が得られ、委員公募の土木学会誌への掲載の手続きに入っていることが報告された。

(3) 平成22年度年自己評価(中間)、23年度事業計画・予算について（資料 幹 9-2-1, 9-2-2, 9-2-3）

古市幹事長より、平成22年度年自己評価(中間)、23年度事業計画・予算について、資料幹 9-2-1～9-2-2 の通り、土木学会に提出されたことが報告された。

(4) 委員長選挙について（資料 幹 9-3-1, 9-3-2, 9-3-3, 9-3-4）

西崎幹事より、資料幹 9-3-1～9-3-4 について、次回委員長選挙の方法およびスケジュールについて説明があった。送付書類について、以下を修正した上で、竹原事務局から複合構造委員会委員に連絡することになった。

- ・次期委員長候補者選出に係る立候補・推薦についてのご案内（資料幹 9-3-2）

① つきましては、まず、立候補者・推薦の受付を・・・

→ つきましては、下記の通り、立候補者・推薦の受付を・・・

② 1. 次期委員長候補者選出工程 → 1. 次期委員長候補者選出行程

③ 2月9日（木）→2月9日（水）

- ・全資料共通

選挙管理小委員会委員の（ ）内の肩書き（幹事会幹事等）は入れない。

(5) 複合構造標準示方書関連(福岡講習会)（資料 幹 9-4-1, 9-4-2）

田中幹事より複合構造標準示方書の福岡での講習会について説明があった。講習会の参加人数について山口幹事に確認することとなったが、参加者の呼びかけや収支の中の管理費の要否については西部支部に一任しているとの説明があった。

また、書籍の印税受取りの諾否を事前に確認する際には、「印税は基本的には貢献度に応じて支払う」ことと、「会社等の都合で受け取れない場合には連絡して頂く」ことを伝えることとなった。

(6) 標準示方書の改訂について

渡辺幹事より、示方書小委員会検討部会や前回幹事会での議論を踏まえ、次回の複合構造委員会で説明するとの話があった。

(7) 第9回複合・合成シンポジウムについて（資料 幹 9-6-1, 9-6-2, 9-6-3, 9-6-4）

古市幹事長より、資料幹 9-6-1 に基づき分担案について説明があり、具体的な準備をそろそろ開始する必要があるとの説明があった。

- ・第9回複合・合成シンポジウムは、平成23年11月9日～11日のうちの2日間で開催する。古市幹事長が建築学会に日程を確認することとなった。
- ・西崎幹事が、全体計画の担当として、今後のスケジュールを計画することとなった。
- ・シンポジウム小委員会を早急に開催する。特に、現場見学会、賞、ポスターセッション、国際連携行事等の有無について検討が必要である。
- ・シンポジウム準備のための会議は、シンポジウム小委員会の活動として実施する。
- ・本間幹事と大垣幹事は、今期スタート時からのシンポジウム小委員会委員ではないが、それぞれ現場見学会と賞の設定の担当として、シンポジウム小委員会に加わって頂く。

(8) 出版関係（資料 幹9-7）

古市幹事長より、現時点での出版図書販売状況と、平成23年度出版計画は見送られたことが、代理で報告された。

(9) ユーロコード調査業務について（資料 幹9-8）

横田委員長より、(財)国土技術研究センターから土木学会への委託研究の内容について説明があった。ISO対応特別委員会の辻教授の依頼により、合成構造(Eurocode4)については複合構造委員会(委託費50万)が調査することになった。

- ・報告書の提出期限は2月15日であり、報告書の案は1月末を目途に作成する。
- ・「我が国の基準との比較に基づく特徴の整理」は、我が国の基準としては複合構造標準示方書をもとに整理する。
- ・Eurocode4の最新版は、横田委員長から技術推進機構に依頼しており、近々入手予定である。
- ・本調査作業は、横田委員長、古市幹事長、大山幹事、斉藤幹事、島幹事、田中幹事が担当し、幹事会の中のWGとして活動することとなった。

(10) 小委員会関連報告と新設小委員会について

維持管理小委員会(H203)（資料 幹9-9-1）

溝江幹事より、「事例に基づく複合構造の維持管理技術の現状評価」の日本鋼構造協会(JSSC)との合同講習会について、JSSCとの打合せ結果に関する説明があった。

- ・土木学会とJSSCの収益の分担は、テキスト代を除く総収入から土木学会の管理費と運営費を除いた額の5割ずつとすることで、JSSCも了承している。
- ・現時点での講習会の事前申込み者数は20名と少なく、今後参加者の呼びかけを積極的に行うこととなった。東京近郊の幹事は6名、それ以外の幹事は3名集めるように努力する。なお、JSSCの委員会でも委員1名につき1名集めるようにするとの報告があった。

FRP歩道橋設計ガイドライン小委員会(H102)（資料 幹9-9-2）

西崎幹事より、FRP歩道橋設計施工ガイドラインについて、複合構造委員会の意見照会を実施し、11/1に土木学会に原稿を提出したことが報告された。

- ・本ガイドラインの定価は5800円となる見込みである。また、表紙の色はライトブルーとした。
- ・講習会(1/25開催)の案内は、土木学会誌1月号に掲載するよう手続きを進めている。なお、土木学会誌1月号掲載では、申込み期限(1/17)までの期間が短いため、事前に参加者の呼びかけを行うこととなった。
- ・強化プラスチック協会と日本複合材料学会は、“共催”ではなく、“後援”とする。
- ・参加費は、12000円(会員)、15000円(非会員)、7000円(学生)とする。

複合構造の基礎に関する書籍作成小委員会(H103)（資料 幹9-9-3）

島幹事より、原稿はすべて作成済みであるが出版物として完成度を高めるため、出版時期を半年程度遅らせて、平成 23 年度に出版する予定であるとの説明があった。また、次回幹事会（1/21）に原稿を提示予定であること、また出版の延期手続きの準備を進めていることが報告された。

- ・複合構造シリーズの出版物のため、幹事会全員の査読と複合構造委員会の意見照会が必要である。
- ・複合構造委員会に意見照会する際には、「修正意見がない場合には了承したものと判断する」ことと、「修正意見の対応は小委員会に一任させて頂く」ことを伝える。
- ・書籍のサイズについて、教科書に合わせた方が学生にとって扱い易いとの意見も多く、また複合構造シリーズとしてサイズを統一する必要はないため、編集作業の手間、図のレイアウト、価格等を考慮して、小委員会で B5 版または A5 版への縮小について検討することとなった。

複合構造ずれ止めの性能評価法に関する調査研究小委員会（H206）

渡辺幹事から、ずれ止めの試験の標準化についてはもう少し時間がかかるため平成 23 年度の出版企画を見送ったとの説明があった。また、現時点での成果をまとめ、第 9 回複合・合成シンポジウムで、小委員会の活動報告を行うとともに、建築学会との情報交換を行いたいとの話があった。

- ・建築学会との情報交換はパネルディスカッションとする方法もあるので、検討することとなった。

樹脂材料による複合技術研究小委員会（H207）（資料 幹 9-9-5）

古市幹事長より、今後の活動方針と報告書の章立て案について、代理で説明があった。

複合構造を対象とした防水・排水技術研究小委員会（H210）

溝江幹事より、公募した結果 15 名の委員の構成となったこと、大西小委員会委員長が今後の活動計画について検討中であることが報告された。

- ・公募してからかなり時間が経過しているため、早急に名簿を確定し、各委員に委嘱状を送る。
- ・委嘱状の任期は来年 1 月から 2 年間とする。

(11) その他（資料 幹 9-10-1, 9-10-2, 9-10-3, 9-10-4-1～3）

①平成 22 年度功績賞候補推薦，および田中賞・国際貢献賞・国際貢献奨励賞の推薦依頼

古市幹事長より、複合構造委員会の各委員に、各賞の推薦依頼の文書を送ることが報告された。

②委員交代

古市幹事長より、徳川委員（パシフィックコンサルタンツ株式会社）から委員の交代の連絡があったことが報告されたが、今年度の委員の変更はせず、次回委員会には代理で出席して頂くこととなった。古市幹事長より徳川委員に連絡することとなった。

③H22 年度委員会・幹事会の予定と予算

次回幹事会までに、各小委員会の予算の執行見込みを古市幹事長まで連絡する。

④H23 年度土木学会年次大会(共通・特別・一般セッション)

古市幹事長より、土木学会から来年度の年次大会の共通セッション・特別セッションのテーマの募集があったことが報告され、今まで同様に、共通セッションに“複合構造”を応募することとなった。

(12) 今後の幹事会の予定（資料 幹 9-10-2）

第 10 回幹事会

- ・開催日時：平成 23 年 1 月 21 日（金）14:00～17:00
- ・開催場所：土木学会

幹事会後に新年会を開催する。

第 11 回幹事会

- ・開催日時：平成 23 年 3 月 6 日（日）～7 日（月）

- ・ 開催場所：熊本（決定）
古市幹事長より葛西准教授に正式に概略行程を連絡する。

以上（記録・文責 池田）